

# 飛驒市民新聞

## 「蔵まつり」 過去最高の人出

### 10回記念でミス日本酒と飛驒市長のトークも



来場者らうつ舌鼓に酒に舞い振る

ることで、市民や観光客に日本酒をより身近に感じてもらうと二〇〇七年から始めたもの。今年で十回目を迎えた。当日は酒蔵見学や新酒などの試飲、利き酒、酒粕詰め放題など酒蔵らしい各種イベントを企画。昨年ヒットした映画「君の名は。」にちなんだ「聖地の酒体験コーナー」や吉本興業のお笑い芸人によるショー、

チンドン屋の演奏、餅まきなどもあり、大勢の人でにぎわった。また、今年はいベント開催十回目を記念し、ミス日本酒の田中沙百合さんと都竹淳也飛驒市長、渡邊社長のトークショーも開かれた。

古川町老之町の渡邊酒造店(渡邊久憲社長)が十八、十九両日、毎年恒例の「蓬萊蔵まつり」を開いた。地元の人々への感謝の気持ちを込め、普段は関係者しか入れない酒蔵を公開す

古川町老之町の渡邊酒造店(渡邊久憲社長)が十八、十九両日、毎年恒例の「蓬萊蔵まつり」を開いた。地元の人々への感謝の気持ちを込め、普段は関係者しか入れない酒蔵を公開す



左から田中さん、渡邊社長、都竹市長

都竹市長は飛驒市の水の豊富さや質の良さ、飛驒人の日本酒好きをアピール。田中さんは「世界でも、国名が入っているお酒は日本酒だけ。海外の方からも素晴らしいと評価されています」と話した。

今回は、過去最高となる約一万五千人が来場した(同店調べ)。「ソーシャルネットワーキングでの口コミで積極的に発信していただけたことが、にぎわいにつながった要因と考えています」と同店の渡邊社

長(48)。「満員御礼でゆつくり楽しんでいただけなかった面もあるのですが、会場のキャパシティを上げられるよう周りの協力も得て、イベントをさらにスケールアップしたい」と意気込んでいた。